# 中国地方整備局総合評価審査委員会　広島県第一部会　（第２回）
# 開催結果の概要

**１．日時：** 平成27年5月29日（金） 16:30～18:00

**２．場所：** 太田川河川事務所　3階会議室

**３．出席者**

部会長：　中山　隆弘【広島工業大学　名誉教授】

委　員：　河合　研至【広島大学大学院工学研究院　教授】

委　員：　山田　昌徳【広島商工会議所　産業・地域振興部長】

発注者：　三次河川国道事務所、太田川河川事務所、土師ダム管理所、弥栄ダム管理所、
温井ダム管理所、中国技術事務所

**４．議事次第：**

- 審査対象案件（工事）の全体説明
- 審査対象案件（工事）の個別審査
- 審査対象案件（業務）の全体説明
- 審査対象案件（業務）の個別審査
- 落札者決定時の意見聴取に関する報告

**５．審査概要：　※対象案件は別添、総合評価審査部会資料（抜粋）のとおり**

（1）審査対象案件（工事）の全体説明

審査対象工事件数・・・　一般競争入札（総合評価方式）　全 14件

＜審査工事件数の内訳＞

1）評価項目・加算点の審査（公告前審査）・・・　13件

総合評価方式【技術提案評価型】内訳

| 工種 | 審査件数 |
|---|---|
| 一般土木 | 1件 |
| プレストレスト・コンクリート | 1件 |
| 通信設備 | 1件 |
| 計 | 3件 |

総合評価方式【施工能力評価型】内訳

| 工種 | 審査件数 |
|---|---|
| 一般土木 | 3件 |
| 電気設備 | 1件 |
| 維持修繕 | 1件 |
| 機械設備 | 3件 |
| 通信設備 | 1件 |
| 受変電設備 | 1件 |
| 計 | 10件 |

2）技術提案の審査（入札前審査）・・・・・・　1件

総合評価方式【技術提案評価型（S型）】内訳

| 工種 | 審査件数 |
|---|---|
| 計 | 0件 |

総合評価方式【施工能力評価型】内訳

| 工種 | 審査件数 |
|---|---|
| 一般土木 | 1件 |
| 計 | 1件 |

(2)審査対象案件(業務)の全体説明

審査対象業務件数・・・　全 21件

＜審査業務事件数の内訳＞

1)評価項目・加算点の審査(公告・公示前審査)・・・　10件

| 発注契約方式 | | 業務種別 | 審査件数 |
|---|---|---|---|
| 簡易公募型<br>プロポーザル方式 | 総合評価型 | 土木関係建設<br>コンサルタント業務 | 8件 |
| 簡易公募型競争入札<br>・総合評価落札方式 | 標準型 | 土木関係建設<br>コンサルタント業務 | 1件 |
| 簡易公募型競争入札<br>・総合評価落札方式 | 簡易型 | 土木関係建設<br>コンサルタント業務 | 1件 |
| 計 | | | 10件 |

1)評価項目・加算点の審査(特定・入札前通知前審査)・・・　11件

| 発注契約方式 | | 業務種別 | 審査件数 |
|---|---|---|---|
| 簡易公募型<br>プロポーザル方式 | 総合評価型 | 土木関係建設<br>コンサルタント業務 | 3件 |
| 簡易公募型競争入札<br>・総合評価落札方式 | 標準型 | 土木関係建設<br>コンサルタント業務 | 1件 |
| | 簡易型 | 土木関係建設<br>コンサルタント業務 | 7件 |
| 計 | | | 11件 |

(3)落札者決定時の意見聴取に関する報告

報告工事件数・・・　一般競争入札(総合評価方式)　全 3件　(H27.3.12～H27.5.8開札分)

・施工能力評価型　・・・・・・　3件

報告業務件数・・・　(総合評価落札方式)　全 28件　(H27.2.24～H27.4.24開札分)

## 6．審議における主な意見・質問

別紙、審議における主な意見・質問のとおり

別紙

# （第２回） 審議における主な意見・質問

工事審査

〇全体

・砂防堰堤工事に伴う振動・騒音に対する住民からの苦情の有無について質問有り。

→これまでは無かったと回答

重要審査（工事）

〇土師ダム放流制御設備工事

・工期の時期毎における作業内容について質問有り。

→時期毎における作業内容について説明。

・維持管理期間終了後の契約に対する質問有り。

→改めて公告し契約を行う旨を説明

・工事費と維持管理費の割合に対する質問有り。

→割合について説明。

・維持管理部門の予定技術者の評価について質問有り。

→加点の対象にはならないと回答。

・求める技術提案の評価基準に関し、設定理由について質問有り。

→理由について説明。

・本設備を維持管理できる能力を有する会社に関する質問有り。

→所定の仕様どおりに管理することになるので、必ずしも製作会社である必要はないことを説明。

・維持管理面でも設備を製作する会社が他社より有利ではないかとの質問有り。

→有利性について説明。

〇天満川舟入本町地区外高潮堤防工事

・申請された施工計画の評価について質問有り。

→評価の指針について説明。

・個別の施工計画の内容について質問有り。

→記載されている施工計画の内容について説明。

業務審査

〇全体

・砂防堰堤の詳細設計業務における評価点に大幅な差が出た理由について質問有り。

→理由について説明。

・個別業務の業務内容について質問有り。

→個別の業務の業務内容について説明。

重要審査（業務）

〇中国管内橋梁点検評価業務

・過去の同様の業務の受注者の傾向について質問有り。

→過去の業者の受注傾向について説明。

・業務内容について質問有り。

→業務内容について説明。

※本部会で頂いたご意見ご質問は、今後の総合評価実施での参考とします。

# 総合評価審査委員会資料（抜粋）

資料－１

平成２７年度　広島県第一部会（第２回）

# 審査対象工事一覧表

平成２７年５月２９日

# ◆公告前の審査【技術提案評価型】対象工事一覧

※下表において、◎は重点審査工事を示す

| 総合評価審査委員会重点審査工事 | No. | 事務所名 | 工事種別 | ランク | 区分 | 工事名 | 工事概要 | 工事の特性<br>（評価項目設定の妥当性が判断できる工事内容やサイト特性をわかりやすく記載すること） | 公告時期（月） | 入札方式 | 評価型区分 | 施工体制確認型 | 加算点の合計 | ①施工体制を除く全て | 施工体制 | | 技術提案、施工計画の内容と加算点 | | | | 企業の施工実績 | | | | | 技能者の従事計画 | 企業の技術力 | 施工能力 | 現場担当技術者 | 地元企業活用促進型 | | 地域精通度・地域貢献度 | 企業の能力等　計 | 配置予定技術者の能力 | | | | | 技術者の能力等　計 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | | | ア）品質確保の実効性 | イ）施工体制確保の確実性 | 1 評価内容１ | 1 加算点 | 2 評価内容２ | 2 加算点 | ア）同種工事の実績 | イ）同じ工種種別の２年間の平均成績 | ウ）工事成績優秀企業認定制度（ゴールドカード制度） | エ）優良工事施工団体表彰／安全管理優良請負者表彰 | オ）下請表彰企業の活用 | ア）登録基幹技能者又は建設マスター | ア）有効な新技術の活用 | ア）情報化施工の活用 | ア）現場担当技術者の配置計画 | ア）地元企業の一次下請活用率 | イ）地元資材の活用率 | | | ア）同種工事の実績 | イ）同種工事の工事成績 | ウ）優秀建設技術者表彰／安全管理優良技術者表彰 | エ）継続教育（ＣＰＤ） | オ）舗装施工管理技術者 | | |
| | 1 | 太田川河川事務所 | 一般土木 | C | 砂防 | 広島西部山系大町５号砂防堰堤工事 | 砂防堰堤　N=１基<br>砂防土工　1式（掘削　V=約1,900m3、盛土　V=約400m3）、法面工　1式（植生基材吹工　A=約1,200m2、連続長繊維補強土　A=約700m2）、鋼製堰堤工、１式（砂防堰堤　１基、L=49.0m、H=11.5m、砂防ソイルセメント　V=約2,500m3）、コンクリート堰堤工　1式（垂直壁工、側壁工、水叩工）、、砂防堰堤付属物設置工　1式（防止柵工　階段工等）<br>流路工<br>1式（掘削　V=約1,400㎥、流路護岸工　A=約200m2、床固工　1式） | 広島市安佐南区大町地区において砂防堰堤及び流路工の施工を行う。現場に隣接して民家が存在するため、騒音及び振動対策に留意する事が重要である。 | 7 | 一般競争 | S型 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 | 太田川河川事務所 | ＰＣ | － | 河川 | 根谷川市道215号線橋梁上部工事 | 上部工<br>　ポステン方式　２径間連続中空床板橋　　Ｌ＝６４．０ｍ<br>　仮橋撤去　１式 | 橋梁上部工のコンクリート打設においては、現場の施工条件や施工時期等を考慮した良好な品質・耐久性を持ったコンクリートが求められる。 | 7 | 一般競争 | S型 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ◎ | 3 | 土師ダム管理所 | 通信設備 | － | 河川 | 土師ダム放流制御設備工事 | 1)ダム放流制御設備　　１式<br>　・放流操作装置（操作室）　1台<br>　・ダム管理用制御処理設備（無線室）　４箇所<br>　・訓練装置（操作室）　１台<br>　・その他設備<br>据付・調整工　１式<br>2)維持管理　　1式<br>通信設備工事における維持管理付き工事の試行 | ダムは24時間稼動しており、消費電力の低減により、維持管理費を低減する効果が期待できる。 | 6 | 一般競争 | S型 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

# ◆公告前の審査【施工能力評価型】対象工事一覧

※下表において、◎は重点審査工事を示す

| 総合評価審査委員会重点審査工事 | No. | 事務所名 | 工事種別 | ランク | 区分 | 工事名 | 工事概要 | 工事の特性<br>（評価項目設定の妥当性が判断できる工事内容やサイト特性をわかりやすく記載すること） | 公告時期（月） | 入札方式 | 評価型区分 | 施工体制確認型 | 施工計画<br>参加資格 | 加算点の合計 | ①施工体制を除く全て | 施工体制<br>ア）品質確保の実効性 | 施工体制<br>イ）施工体制確保の確実性 | 企業の施工実績<br>ア）同種工事の実績 | 企業の施工実績<br>イ）同じ工種種別の２年間の平均成績 | 企業の施工実績<br>ウ）工事成績優秀企業認定制度（ゴールドカード制度） | 企業の施工実績<br>エ）優良工事施工団体表彰／安全管理優良請負者表彰 | 企業の施工実績<br>オ）下請表彰企業の活用 | 技能者の従事計画<br>ア）登録基幹技能者又は建設マスター | 企業の技術力<br>ア）有効な新技術の活用 | 施工能力<br>ア）情報化施工の活用 | 現場担当技術者<br>ア）現場担当技術者の配置計画 | 地元企業活用促進型<br>ア）地元企業の一次下請活用率 | 地元企業活用促進型<br>イ）地元資材の活用率 | 地域精通度・地域貢献度 | 企業の能力等 計 | 配置予定技術者の能力<br>ア）同種工事の実績 | 配置予定技術者の能力<br>イ）同種工事の工事成績 | 配置予定技術者の能力<br>ウ）優秀建設技術者表彰／管理優良技術者表彰 | 配置予定技術者の能力<br>エ）継続教育（ＣＰＤ） | 配置予定技術者の能力<br>オ）舗装施工管理技術者 | 技術者の能力等 計 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 三次河川国道事務所 | 一般土木 | C | 河川 | 江の川門田地区築堤外工事 | 工事延長L=240m<br>築堤盛土V=3,500m3<br>法面整形工A=1,300m2<br>護岸工A=700m2<br>樋門N=1基<br>地盤改良工　１式 | 堤防盛土及び樋門・護岸の施工を行うものである。樋門施工箇所は軟弱地盤であり地盤改良の施工が重要である。 | 6 | 一般競争 | Ⅰ型 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 | 弥栄ダム管理所 | 一般土木 | C | 河川 | 弥栄ダム管路設置工事 | 工事延長L=約1,900m<br>舗装版撤去工A=1200m2<br>舗装工A=1200m2(ｔ=5cm)<br>管路設置　L=1,900m（難燃性FEPφ１００φ50）<br>マンホール設置 N=8基<br>(1300*2300*1500) | 当該工事は、ダム湖周辺の道路（林道）上で、埋設配管を行うため、交通規制の区間及び期間、道路利用者等について配慮が必要となる。 | 6 | 一般競争 | Ⅰ型 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3 | 三次河川国道事務所 | 一般土木 | C | 道路 | 尾道松江線口和地区迂回路復旧工事 | 掘削工　V=3200m3<br>舗装工　A=580m2<br>防護柵工　L=約400m<br>標識工　N=5基<br>構造物撤去工　１式 | 自動車専用道路の復旧を行う工事であり、一般交通への安全対策が重要である。 | 6 | 一般競争 | Ⅰ型 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4 | 三次河川国道事務所 | 電気設備 | B | 道路 | 国道54号甲立トンネル外照明設備工事 | トンネル照明　LED　64灯<br>道路照明設備　LED　１式 | 既設トンネル照明設備の更新であり、設備撤去・設置時に道路交通への配慮が求められる。 | 6 | 一般競争 | Ⅰ型 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 5 | 三次河川国道事務所 | 維持修繕 | － | 道路 | 国道54号橋梁外補修工事 | 橋梁補修　１２橋<br>トンネル補修　４ﾄﾝﾈﾙ | 国道54号の橋梁補修及びトンネル補修を行う工事であり、一般交通への安全対策が重要である。 | 6 | 一般競争 | Ⅰ型 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6 | 太田川河川事務所 | 受変電設備 | － | 河川 | 矢口川排水機場発電設備工事 | 自家発電機（電動機電源用）：２台<br>自家発電機（系統機器他電源用）：１台<br>地下燃料タンク：１基<br>燃料小出槽：１基<br>引込計器盤：１面<br>動力受電盤：１面<br>電灯受電盤：１面<br>直流電源盤：１面<br>屋外照明：１式<br>配管配線：１式<br>据付調整：１式 | 作業ヤードが狭く、重量物搬入の際に、既設の機器・構造物等に損傷を与えないことが重要である。 | 6 | 一般競争 | Ⅰ型 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 7 | 太田川河川事務所 | 機械設備 | － | 河川 | 太田川戸坂３号ゲート設備開閉措置更新工事 | 戸坂３号樋門<br>ゲート面積A=約28m2<br>・開閉装置更新　１門分<br>・ローラ整備　１門分<br>・水密ゴム更新　１門分 | － | 6 | 一般競争 | Ⅱ型 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 8 | 弥栄ダム管理所 | 機械設備 | － | 河川 | 弥栄ダム非常用放流設備開度計更新外工事 | 非常用放流設備　４門<br>　非常用放流設備主開度計更新　　４門分<br>　非常用放流設備副開度計増設　　４門分 | － | 6 | 一般競争 | Ⅱ型 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 9 | 土師ダム管理所 | 機械設備 | － | 河川 | 土師ダム主放水設備油圧シリンダー分解整備外工事 | １号ゲート（純径間4.5m有効高4.0m）<br>油圧シリンダー分解整備<br>１基<br>水密ゴム交換　１門分 | － | 6 | 一般競争 | Ⅱ型 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

# ◆公告前の審査【施工能力評価型】対象工事一覧

※下表において、◎は重点審査工事を示す

| 総合評価審査委員会重点審査工事 | No. | 事務所名 | 工事種別 | ランク | 区分 | 工事名 | 工事概要 | 工事の特性<br>（評価項目設定の妥当性が判断できる工事内容やサイト特性をわかりやすく記載すること） | 公告時期（月） | 入札方式 | 評価型区分 | 施工体制確認型 | 施工計画<br>参加資格 | 加算点の合計 | ①施工体制を除く全て | 施工体制<br>ア）品質確保の実効性 | 施工体制<br>イ）施工体制確保の確実性 | 企業の施工実績<br>ア）同種工事の実績 | 企業の施工実績<br>イ）同じ工種種別の２年間の平均成績 | 企業の施工実績<br>ウ）工事成績優秀企業認定制度（ゴールドカード制度） | 企業の施工実績<br>エ）優良工事施工団体表彰／安全管理優良請負者表彰 | 企業の施工実績<br>オ）下請表彰企業の活用 | 技能者の従事計画<br>ア）登録基幹技能者又は建設マスター | 企業の技術力<br>ア）有効な新技術の活用 | 施工能力<br>ア）情報化施工の活用 | 現場担当技術者<br>ア）現場担当技術者の配置計画 | 地元企業活用促進型<br>ア）地元企業の一次下請活用率 | 地元企業活用促進型<br>イ）地元資材の活用率 | 地域精通度・地域貢献度 | 企業の能力等 計 | 配置予定技術者の能力<br>ア）同種工事の実績 | 配置予定技術者の能力<br>イ）同種工事の工事成績 | 配置予定技術者の能力<br>ウ）優秀建設技術者表彰／管理優良技術者表彰 | 配置予定技術者の能力<br>エ）継続教育（ＣＰＤ） | 配置予定技術者の能力<br>オ）舗装施工管理技術者 | 技術者の能力等 計 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 10 | 三次河川国道事務所 | 通信設備 | － | 道路 | 三次管内道路情報設備工事 | IP伝送装置　　12箇所 | － | 6 | 一般競争 | Ⅱ型 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

# ◆入札前の審査【施工能力評価型】対象工事一覧

※下表において、◎は重点審査工事を示す

| 総合評価審査委員会重点審査工事 | No. | 事務所名 | 工事種別 | ランク | 区分 | 工事名 | 工事概要 | 工事の特性<br>（評価項目設定の妥当性が判断できる工事内容やサイト特性をわかりやすく記載すること） | 評価型区分 | 加点<br>①施工体制 | ②企業の施工実績 | ③登録基幹技能者又は建設マスター | ④企業の技術力（有効な新技術の活用） | ⑤施工能力（情報化施工の活用） | ⑥現場担当技術者（現場担当配置計画） | ⑦地元企業活用促進型 | ⑧地域精通度・地域貢献度 | ⑨配置予定技術者の能力 | 合計 | 技術提案、施工計画<br>【求めた技術提案】 | 技術資料提出者数 | 入札参加資格者数（欠格者を除く数） | 評価点<br>平均点 | 最高点 | 最低点 | 簡易な施工計画評価内訳（社数）可／不可<br>可 | 不可 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ◎ | 1 | 太田川河川事務所 | 一般土木 | C | 河川 | 天満川舟入本町地区外高潮堤防工事 | 海岸土工　１式（掘削工V=100m3、盛土工V=500m3）<br>護岸工　１式（石積（張）工　A=約250m2）<br>法裏被覆工　１式<br>排水構造物工　１式<br>付属物設置工　１式<br>付帯道路工　１式（カラー舗装工A=約440m2）<br>構造物撤去工　１式<br>仮設工　１式 | 市内派川天満川の高潮堤防工事であり、背後には近接して人家が存在する。<br>隣接する人家に対して、騒音及び振動への配慮が求められる。 | Ⅰ型 | 30 | 14 | 1 | | | | | 5 | 20 | 70.0 | 工事現場（舟入本町及び住吉町）内における騒音対策及び振動対策に対する施工計画 | | | | | | | | |

資料－３

平成２７年度　広島県第一部会（第２回）

# 審査対象業務一覧表

平成２７年５月２９日

## ◇【簡易公募型プロポーザル方式】 評価項目及び評価点　（公示前審査）

| NO | 事務所名 | 業務名 | 業務種別 | 業務概要 | 公示時期（月） | 入札参加者の評価点（選定・指名段階） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 技術提案書等の評価点（特定・入札段階） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

## ◇【簡易公募型プロポーザル方式】 評価項目及び評価点　（公示前審査）

| NO | 事務所名 | 業務名 | 業務種別 | 業務概要 | 公示時期（月） | 入札参加者の評価点（選定・指名段階） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 技術提案書等の評価点（特定・入札段階） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

## ◇【簡易公募型競争入札　総合評価落札方式（標準型 ／簡易型）】 評価項目及び評価点　（公示前審査）

| NO | 事務所名 | 業務名 | 業務種別 | 業務概要 | 公示時期（月） | 入札参加者の評価点（選定・指名段階） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 技術提案書等の評価点（特定・入札段階） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

## ◇【簡易公募型競争入札　総合評価落札方式（標準型 ／簡易型）】 評価項目及び評価点　（公示前審査）

| NO | 事務所名 | 業務名 | 業務種別 | 業務概要 | 公示時期（月） | 入札参加者の評価点（選定・指名段階） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 技術提案書等の評価点（特定・入札段階） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

## ◇【公募型／簡易公募型プロポーザル方式】 参加表明書／技術提案書の評価一覧表　（特定前審査）

| N0 | 事務所名 | 業務名 | 業務種別 | 業務概要 | 公示時期（月） | 評価テーマ内容 | | 参加表明書の評価（公募型・簡易公募型の場合） | | 技術提案書の評価 | | | | | | 備　考（ページ・番号） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 技術提案書の提出要請者数 | 技術提案提出者数 | 評価ウェート | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 満点 | 提出された技術提案書の評価 | | | |
| | | | | | | 評価テーマ① | 評価テーマ② | 参加表明者数 | 要件を満たしていない者 | | | | 平均 | 最高 | 最低 | |

※中段：最高・最低得点者の技術提案得点を示す。
※下段：技術提案の最高・最低得点を示す。

### ◇簡易公募型プロポーザル方式

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 太田川河川事務所 | 太田川水系浸水解析外検討業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 本業務は、太田川水系において計画規模を上回る洪水発生時の浸水解析等を実施し、関連市町村が実践的な洪水ハザードマップ等を作成するために必要となる基礎情報を作成・整理するものである。 | 3 | 太田川デルタ域の地域特性を踏まえた計画規模を上回る洪水を対象とした浸水解析の留意点 | ― | | | | | | | | | |
| 2 | 太田川河川事務所 | 小瀬川水系浸水解析外検討業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 本業務は、小瀬川水系において計画規模を上回る洪水発生時の浸水解析等を実施し、関連市町村が実践的な洪水ハザードマップ等を作成するために必要となる基礎情報を作成・整理するものである。 | 3 | 弥栄・小瀬川ダムの洪水調節を踏まえた計画規模を上回る洪水を対象とした浸水解析の留意点 | ― | | | | | | | | | |
| 3 | 中国技術事務所 | 中国管内橋梁点検評価業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 本業務は、現地検査結果に基づいて、対策区分判定及び健全性の診断を行うとともに、これらの記録を一元的に管理する橋梁管理カルテの作成等を行う。また、橋梁保全に携わる技術者に対し、点検技術の習得の講習会等の運営補助を行う。 | 3 | 適切に健全性の診断を行うための留意事項について | 現地点検時における視点について | | | | | | | | | 重点審査案件 |

## ◇【公募型／簡易公募型競争入札（総合評価落札）方式】 参加表明書／技術提案書の評価一覧表　（入札前審査）

| N0 | 事務所名 | 業務名 | 業務種別 | 業務概要 | 公示時期（月） | 評価テーマ | | 評価割合 | 参加表明書の評価（公募型・簡易公募型の場合） | | 技術提案書の評価 | | | | | | 備　考（ページ・番号） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | 技術提案書の提出要請者数 | 技術提案提出者数 | 評価ウェート | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | 満点 | 提出された技術提案書の評価 | | | |
| | | | | | | 評価テーマ① | 評価テーマ② | | 参加表明者数 | 要件を満たしていない者 | | | | 平均 | 最高 | 最低 | |

◇簡易公募型競争入札（総合評価落札）方式　標準型

※中段：最高・最低得点者の技術提案得点を示す。
※下段：技術提案の最高・最低得点を示す。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 太田川河川事務所 | 広島西部山系上温品地区砂防堰堤予備詳細設計業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 砂防堰堤予備詳細設計１式 | 4 | 上温品地区の地域特性を踏まえた砂防施設設計のための留意点 | ー | 1:2 | | | | | | | | | |

## ◇【公募型／簡易公募型競争入札（総合評価落札）方式】 参加表明書／技術提案書の評価一覧表　（入札前審査）

| N0 | 事務所名 | 業務名 | 業務種別 | 業務概要<br>（履行場所、目的、内容） | 公示時期（月） | 評価テーマ | | 評価割合 | 参加表明書の評価（公募型・簡易公募型の場合） | | 技術提案書の評価 | | | | | | 備考<br>（ページ・番号） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | 技術提案書の提出要請者数 | 技術提案提出者数 | 評価ウェート | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | 満点 | 提出された技術提案書の評価 | | | |
| | | | | | | 評価テーマ① | 評価テーマ② | | 参加表明者数 | 要件を満たしていない者 | | | | 平均 | 最高 | 最低 | |

◇簡易公募型競争入札（総合評価落札）方式　簡易型

※中段：最高・最低得点者の技術提案得点を示す。
※下段：技術提案の最高・最低得点を示す。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 太田川河川事務所 | 広島西部山系奥の谷・鈴張川支川・権現川砂防堰堤詳細設計業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 砂防堰堤詳細設計１式 | 4 | ― | ― | 1:1 | | | | | | | | | |
| 2 | 太田川河川事務所 | 広島西部山系祇園山本地区砂防堰堤詳細設計業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 砂防堰堤詳細設計１式 | 4 | ― | ― | 1:1 | | | | | | | | | |
| 3 | 太田川河川事務所 | 広島西部山系八木西地区特定緊急砂防堰堤詳細設計業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 砂防堰堤詳細設計１式 | 4 | ― | ― | 1:1 | | | | | | | | | |
| 4 | 太田川河川事務所 | 広島西部山系八木梅林地区外特定緊急砂防堰堤詳細設計業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 砂防堰堤詳細設計１式 | 4 | ― | ― | 1:1 | | | | | | | | | |
| 5 | 太田川河川事務所 | 広島西部山系緑井地区外堰堤詳細設計業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 砂防堰堤詳細設計１式 | 4 | ― | ― | 1:1 | | | | | | | | | |
| 6 | 中国技術事務所 | コンクリート調査試験外業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 本業務は、中国地方整備局内においてコンクリート試験等を実施するものである。 | 3 | ― | ― | 1:1 | | | | | | | | | |
| 7 | 三次河川国道事務所 | 備北丘陵公園施設設計外業務 | 土木関係建設コンサルタント業務 | 本業務は、国営備北丘陵公園内における園内施設の更新及び修繕に必要な調査・測量・設計を行うものである。また、公園の利用実態調査及び利用促進に関する検討を行うものである。 | 3 | ― | ― | 1:1 | | | | | | | | | |